

アジ研 ワールド・トレンド

11

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

2009

第170号

特集●
地域制度としてのASEAN

分析レポート●
「百年に一度の危機」への中国の対応
—中国2009年は、日本の1972年か、1987年か



**ASSOCIATION OF
SOUTH
EAST
ASIAN
NATIONS**

1 巻頭エッセイ 国際社会とASEAN

スリン・ピッサワン

特集 地域制度としてのASEAN

- | | |
|---|-------|
| 2 ●特集にあたって | 山影 進 |
| 4 ●ASEANを動かしている力は何なのか | 山影 進 |
| 8 ●ASEANと広域経済連携—政治と経済、両面からみた回顧と展望 | 鷲尾友春 |
| 12 ●ASEAN共同体の核「ASEAN経済共同体（AEC）」 | 助川成也 |
| 16 ●ASEAN安全保障共同体（ASC）構想 | 菊池 努 |
| 20 ●ASEANと市民社会 | 首藤もと子 |
| 24 ●東アジアにおける「ハブ」としてのASEAN—域外諸国との関係とその変容 | 大庭三枝 |
| 28 ●ASEAN憲章下での組織改革 | 鈴木早苗 |
| 32 ●米国とASEAN共同体—ASEAN共同体構想への積極的関与とその要因 | 湯澤 武 |
| 36 ●ASEANにおける規範の変容 | 湯川 拓 |

40 フォト・エッセイ **ベトナム タインホア省で出会った人々** 寺本 実44 分析レポート **「百年に一度の危機」への中国の対応—中国2009年は、日本の1972年か、1987年か** 渡邊真理子52 セミナー報告 **アジア太平洋地域における格差縮小への戦略** 森 壮也54 連載／もっとやさしい開発経済学 **第24回 情報技術革命—変わる貧困層の生活** 高野久紀

56 カルチャー・ショック

外国人のみた日本	スミマセン、行かないでください	クレオアン・カリムバヒン
日本人のみた外国	メニューのない料理店、注文の多い客人	初鹿野直美

58 ブックシェルフ

新刊紹介／「貧困国への援助再考—ニカラガ草の根援助からの教訓」アジアを見る眼シリーズ111	加賀美充洋
レファレンスコーナー／アジア債券市場の育成	東川 繁

60 アジア各国・地域 経済統計 研究支援部研究情報システム課

64 研究所だより

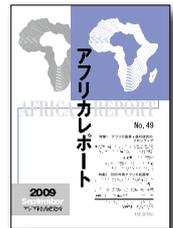
◆表紙写真 上段：第14回ASEAN首脳会議のオープニング・セレモニー。左からインドネシア・ユドヨノ大統領、ラオス・ブアソーン首相、マレーシア・アブドゥラ首相、フィリピン・アロヨ大統領、シンガポール・リー首相、タイ・アビシット首相、ベトナム・ズン首相、ミャンマー・テインセイン首相、ブルネイ・ボルキア国王、カンボジア・フンセン首相、スリンASEAN事務局長（写真提供：ロイター／アフロ）

左下：1967年8月8日、タイ外務省にて行われたASEAN結成式。左から、ナルシソ・ラモス・フィリピン外相、アダム・マリク・インドネシア外相、タナット・コマン・タイ外相、ラザク・ソン・アブドル・マレーシア副首相、ラジャラトラム・シンガポール外相の各代表（写真提供：PANA）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

▼ **アジア経済研究所 新刊案内**

アフリカレポート No.49 二〇〇九年九月号



- 巻頭言 新型インフルエンザとアフリカ 永原陽子
- 特集一 アフリカ農業・農村研究のフロンティア
- 脆弱性の視点から見るアフリカ農民・農業考 島田周平
- タンザニアの食糧問題の「失われた環」 池野 旬
- 変動期のアフリカ農村―ザンビアの村の事例から― 児玉谷史朗
- タンザニア農村のコミュニティ活動 吉田昌夫
- エチオピアのマイクロファイナンス―ACS―の事例― 児玉由佳
- 特集二 二〇〇九年南アフリカ総選挙
- ジェイコブ・ズマを南アフリカ大統領にした2つの選挙 牧野久美子
- 南アフリカ与党ANC、民主化一五年後の転機 津山直子
- 二〇〇九年南アフリカ選挙とクワズール・ナタール州 佐藤千鶴子
- アフリカン・ピア・レビュー・メカニズム (APRM) の進捗と停滞 望月克哉
- 資料紹介 ●アジア研アフリカ通信

▼ **最近の海外来訪者**

トルコ II Mr. E. Erbil Vanli (トルコ貿易教育対外貿易専門家、他二名) 九月三日
 中国 II 王学勤 (北京市人民政府高級顧問)、他二名 九月一四日

▼ **アジア研ウェブサイトをよ**

見過ぎがちなコーナーをいくつかご紹介いたします。

● **異文化*言い分*EVEN:カルチャー・ショック!**

本誌にて連載していますカルチャー・ショックを再編集したものです。外国人の目に日本がどう映ったのか、こころ暖まる経験から深刻な話題までいろいろあります。一方日本人が外国で出会ったおもしろいまたは恐ろしい経験を地域別に読めるようにいたしました。 www.ide.go.jp/Japanese/Serial/Even/index.html

● **研究者インタビュー**

当研究所の研究者が途上国研究をライフワークにするきっかけ、現在行っている研究の紹介、今後の抱負などを語りつづけてもらいました。各研究者の意外な一面が発見できるコーナーです。 www.ide.go.jp/Japanese/Researchers/Interview.html

● **ブラジル・レポート**

新興経済大国の一員であるブラジルの政治・経済・社会に関するトピックを二〇〇七年から毎月掲載しています。ラテンアメリカ研究グループの近田亮平が担当しています。ブラジルに関する心のある方は必読です。 www.ide.go.jp/Japanese/Research/Region/Latin/Brazil/index.htm

● **海外研究員レポート**

海外研究員の各社在任地における政治、経済、社会等の諸事情について、エッセー風にまとめたものです。現地に滞在しなければ得ることができないようなトピックを中心に報告を行っています。 www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Download/Overseas_report/index.html

国際シンポジウム「世界経済危機とアジア経済の再構築」開催のご案内

アメリカ発の金融危機は 今後アジア経済にどのような影響を及ぼし、またどう対処していくのか、内外のエコノミストが現状分析と将来展望を議論いたします。詳しくは近日中に下記ウェブサイトにてお知らせします。読者の皆様のお申し込みをお待ちしております。

日時場所：12月1日（火）午後

詳細は、<http://www.ide.go.jp/Japanese/>

12月号の特集の予告

『BOPビジネスの可能性』

途上国の低所得層 (Base of Pyramid) にサービスや商品販売することを通じて貧困削減に寄与する一挙両得のBOPビジネス。日本企業に参入可能性はあるのか、多角的な側面から検討します。(タイトルは変更することがあります)

『アジア研ワールド・トレンド』
第15巻第11号 通巻170号

2009年11月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所
研究支援部

〒261-8545 千葉県美浜区若葉3丁目2番2
TEL 043(299)9735 FAX 043(299)9736
<http://www.ide.go.jp>

印刷

社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷

個人会員のご案内

年会費 10,000円

※10月以降にご入会のかたはその年度に限り5,000円となります。
「アジア研ワールド・トレンド」は10~3月分をお送りいたします。

賛助会個人会員サービス内容

- 「アジア研ワールド・トレンド」(月刊)送付
- **アジア経済研究所図書館資料貸出(登録必要)** 新規
- アジア経済研究所出版物(単行書)1点追加配付
- 各種割引 例 出版物を直接ご注文のとき2割引でご購入できます(定期刊行物を除く)
- ファックスにて事前に講演会等開催案内をご連絡いたします

10月13日~12月25日 キャンペーン実施中

上記期間中、ご関心のある方先着300名様に無料で「アジア研ワールド・トレンド」のバックナンバーをさしあげています。詳細は <http://www.ide.go.jp/Japanese/> 「会員サービス」をご覧ください

お問い合わせ先 成果普及課 賛助会担当まで
Tel: 043-299-9536 e-mail: members@ide.go.jp

日本貿易振興機構アジア経済研究所 2010年度採用研究職員募集要項

応募分野・資格

研究職員

- ① 地域研究 ② 開発研究 ③ 国際関係

博士（またはPh.D.）の学位を有する者、もしくは取得見込みの者。英語で発表能力を有する者。

募集人員

若干名

応募手続

1. 提出書類等

- (1) 履歴書（写真貼付。研究所指定様式をウェブサイト(<http://www.ide.go.jp>)よりダウンロードして使用すること。）
- (2) 志望動機書（A4版用紙一枚程度）
- (3) 著書・論文・学会発表等の業績リスト
- (4) 所属大学・研究機関等における所属長、類似研究分野の教授、研究者等の推薦状（提出可能な者のみ）
- (5) 学業成績証明書（学部以上すべての証明書。1年以内に発行されたもの。コピー可。）
- (6) 卒業・修了（見込み）証明書（学部以上すべての証明書。1年以内に発行されたもの。コピー可。）
- (7) 博士号（またはPh.D.）取得を証明するものもしくは学位記（コピー可。該当者のみ）
- (8) 博士学位論文の写し（該当者のみ）
- (9) 主要な著書またはレフェリー付き学術誌に掲載された論文（コピー可）を2点以内
- (10) (8)及び(9)について、それぞれ400字程度の概要
(8)(9)(10)は各2部提出。
- (11) 返信用封筒（角2封筒に120円切手貼付の上、住所・氏名を明記すること。）

2. 応募方法 下記提出先へ郵送のこと。提出の際には封筒の表に「応募書類在中」と朱書のこと。
なお、著書以外の応募書類は返却致しません。

3. 応募期間 2009年10月26日（月）から 2009年11月12日（木）まで <応募書類必着>

選考

第1次選考：書類審査

第2次選考：面接及びプレゼンテーション（12月中旬予定） ※詳細は書類審査の合格発表時（12月初旬）にお知らせします。

勤務開始

2010年4月1日（予定）

待遇

本機構の規定による。

応募書類の提出先および問い合わせ先

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2

日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究企画部研究人材課 職員採用係

E-mail : jinzai@ide.go.jp Tel : 043-299-9400 Fax : 043-299-9724

問い合わせはできるだけ上記メールアドレス宛にお願いします。なお、選考内容については一切お答えできません。

個人情報の取扱について

募集に際して提出していただいた書類は、独立行政法人日本貿易振興機構個人情報保護規程に則り厳重に管理し、採用審査以外の用途に使用することはありません。またこれらの個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与を行うことは一切ありません。



——中東の街角で——
エルサレム

新市街。レストランや土産物屋が集まる中心部はいつも多く
の人で賑わう。近くにある旧市街とは違って、チェーン店や「近
代的」な店舗が多い（撮影：土屋一樹）。